

令和3年7月29日

プロポフォールの出荷調整について（続報）

一般社団法人 日本歯科麻酔学会  
理事長 飯島毅彦

今年5月に出されたプロポフォールの出荷調整は現在も続いており、各診療所、歯科医院においては在庫切れにより麻酔管理ができない状態に陥っていることも聞いております。学会としては現状を打開するために調査をしております。大手輸入業者の丸石製薬より以下の回答（抜粋）をいただきましたので報告します。

「プロポフォール静注 1%50mL「マルイシ」/同 100mL「マルイシ」につきましては、一時的に集中した増量体制を構築するため、これより約半年間は特別仕様品（ハンガーフックと副片ラベルがなく、貯法は室温保存）にて供給させていただくことで進めております。通常流通品は特別なラベルを使用しているため、増産が出来ない一因となっております。既に、輸出元（ドイツ）におきまして、特別仕様品による増産を進めており、その中間製品が8月上旬頃から順次国内に入荷する見込みでございます。

国内入荷後、弊社工場において、検査・包装・出荷判定を経て、出荷が可能となりますが、現状の進捗からいたしますと、8月下旬～9月上旬にかけて特別仕様品の出荷が順次できるようになる見込みでございます。

増産につきましては、通常月当たりに入荷する数量の約2倍量を製造予定であり、その入荷状況と、この先の出荷動向を見ながら、慎重に出荷調整解除の時期を検討してまいります。尚、1%20mLと2%50mLにつきましては、需給状況は若干ではあるものの安定化しつつありますが、1%20mLにつきましては、1%50mL/同 100mLからの代替使用や、国内での第5波の可能性、輸出元（ドイツ）の新型コロナの状況等も想定し、出荷調整は継続させていただいております。」

輸入元は上記のような対応で流通量を増やしております。一方、需要はこれまでの2倍近くになっているようですが、納入業者は人工呼吸患者の受け入れ機関への納品を優先させる厚労省の通知に基づいているのでなかなか歯科医院への納入を推進できない状況ではあります。学会としては関係各方面に働きかけ解決へ取り組んでいきます。ご不便をおかけしますが何卒よろしく願いいたします。